



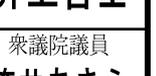
市議会議員
砂田喜昭
Tel 67-4322



衆議院議員
藤野保史



参議院議員
たけだ良介



参議院議員
井上哲士

3月議会提出議案

3月議会が5日から23日まで開かれ、2021年度予算案や条例改正案などが審議されます。市が提出した議案の一部を紹介します。

国民健康保険税条例の改正

国の税制改正に伴う条例改正で、3点あります。

①課税限度額を63万円に引き上げ

国保税(医療費分)の課税限度額が61万円から63万円に、国保税(介護納付金分)の課税限度額が16万円から17万円に引き上げられます。所得の多い世帯や国保加入者の多い世帯が該当し、国保税額99万円になります。

②均等割、平等割の減額世帯を拡大

低所得者の国保税軽減世帯を増やします。均等割(加入者一人あたり)、平等割(一世帯あたり)が7割減額されるのは、これまでは所得33万円以下の世帯が対象でした。

均等割額等の減額割合	所得基準額	
	改正前	改正後
7割	330,000円以下の世帯	430,000円+ (100,000円×(給与所得者等 ² の人数-1))以下の世帯
5割	330,000円+ (285,000円×被保険者数) 以下の世帯	430,000円+ (285,000円×被保険者数) + (100,000円×(給与所得者等の人数-1))以下の世帯
2割	330,000円+ (520,000円×被保険者数) 以下の世帯	430,000円+ (520,000円×被保険者数) + (100,000円×(給与所得者等の人数-1))以下の世帯

※給与所得者等…給与所得を有する者又は公的年金等に係る所得を有する者(給与等、公的年金等の収入金額が一定の金額を超える者に限る。)

③空き地、空き店舗などの譲渡所得に特例

低未利用土地等の長期譲渡所得に課税の特例も設けます。都市計画区域内にある個人所有(5年以上)の空き地、空き家、空き店舗などを2022年12月3

農業施設雪害復旧に2500万円

20年度3月補正予算で、96.1万円、市431.6万円の計上し、雪害復旧支援に2527万7千円(財源内訳、国・県20)を計上しました。

剪定枝処理機2台を無料貸し出し

環境センターへ持ち込まれる剪定枝が増え続けています。市は再生利用のため業者に委託し、その業者は土壌改良材などに加工販売しています。これに伴う市の負担が増えるので、新年度から半分は燃えるゴミにまわします。

市民に小型剪定枝処理機を無料で貸し出し、利用者がチップにして家庭内で活用を検証します。

広島平和記念式典派遣に61万円

隔年実施にされた広島平和記念式典に21年度、中学生を派遣します。核兵器禁止条約が発効し、既に54カ国が批准しました。国際法として核兵器は人道に許されない違反行為とされています。

部活動のあり方検討委員会に7万円

部活動のあり方検討委員会(各種団体代表、PTAなど)を開催し、土日の活動について23年度以降の段階的な地域移行のあり方について検討します。21年度は5回

クロスランドおやべ再編費用算定に151万円

小矢部市公共施設再編計画ではクロスランドおやべのメインホールは維持するがセレナホールは集約する、タワーは廃止・利用停止するとの方向を打ちだしました。その具体的な方策を検討する委員会をつくり、維持の程度、集約の方法や必要費用について、複数のパターンを検討します。

このための予算151万円のうち、工事費を算定する業務委託費用に140.1万円を計上しました。

関係者からは県内各地のホールでは、メインホールと小規模なホールを併用しており、セレナホールは不可欠だとの声があがっています。砂田市議も18年3月議会公共施設再編特別委員会で、「セレナホールはメインホールと対のもので、セレナホールは肉声でホール全体に声が届く構造で音楽専用にも使えるように作った。タワーはエレベーターが動かなくなれば上へ上がらないことにすれば良いし、ダビンチテクノミュージアム(博覧館)は目的を転用すれば良い」と主張しました。